



子ども図書研究室 講演会

わらべうたで遊んだことはありますか？子どもの時に遊んだ方もいれば、子育てをしたり子どもと接したりする中で覚えたという方もいるでしょう。児童書や「わらべうた」の研究を長年されてきた落合美知子先生によると、「わらべうた」には伝承されてきたことばの力があるそうです。

その落合美知子先生をお迎えして「ことばを育むわらべうた」の講演会を7月9日(火)県立美術館で開催します。今日の様々に変化していく「ことば」の環境を踏まえつつ、赤ちゃんのことばの獲得や子どもの読書活動推進の基本となる、「わらべうた」の大切さをお話しいただき、実際にわらべうたを取り入れた「乳幼児おはなし会」の方法も教えていただきます。



「わらべうた」が大切なことはわかるけれど経験がないからできない、という声を聞くこともありますが、講演会では実際に会場の皆さんと声を出して「わらべうた」をする時間も設けます。「わらべうた」の楽しさをぜひ体感してください。



◆申込方法

講師：落合 美知子 氏
（「おはなしとおんがくのちいさいうち」主宰）
日時：令和元年7月9日（火）
午後1時～3時（開場12時30分）
会場：県立美術館 講堂
定員：160人（先着順 要事前申込）
対象：15歳以上の方（中学生を除く）
申込：来館、電話、FAXまたはEメールにて
電話：054-262-1246
FAX：054-264-4268
Eメール：webmaster@tosyokan.pref.shizuoka.jp

県立図書館では落合先生の著書『乳幼児おはなし会とわらべうた』『わらべうた-子どもの心に灯をともし』『いい家庭にはものがたりが生まれる』等を所蔵しております。是非ご利用ください。

新着資料から

知識



『ここにも!そこにも! ダニ』
皆越 ようせい/写真・文
ポプラ社
2018年11月

虫が付いている赤い宝石のようなもの。よく見るとユビタカラダニの子ども!

ダニは家の中や周り、野、山、川など身近にたくさんいて、3mmから目に見えない小さなものまで色も形も大きさも様々。日本だけでも2000近くの種類がある。アレルギーの原因や、人やペットの血を吸うなどの害虫のイメージが強いがそれは一部で、森や林で落ち葉を食べ、土にかえす大きな役割をするダニも。小さなダニを脱皮や産卵の様子まで精緻な写真で捉え、迫力を感じる。【小学校低学年から】(眞子)

絵本



『なんげえはなしっこ しかへがな』
北 彰介/文 太田 大八/絵
BL出版
2018年11月

津軽弁で「ながいはなし、してやろうかな」と始まる、七話で構成される昔話集。それぞれの話は短い、何千何万とある栗の実がひとつずつみんな落ちるまで1年と3日かかった話、何千匹の生まれた熊ん蜂が一匹づつ巣から出るまで5年と35日かかった話など、擬音語の繰り返してどこまでも「果てなし話」になる。

文は読みやすく区切って表記されているが、目読よりも、ゆったりと声に出して読んで（語って）ほしい。ひなびた色合いの絵も暖かい。銀河社1979年刊の再話。【0歳から】(宮崎)

子ども図書研究室 事業

◆「新刊サロン」のご案内

「子ども図書研究室」では今年も新刊サロンを開催します。子ども図書研究室の新刊を囲んでおしゃべりしませんか？公立図書館司書や学校図書館司書、ボランティア、子どもの本に興味のある方など、様々な立場の方が参加されます。お気軽にお越しください。



- 日時：6月19日（水）、8月21日（水）
10月16日（水）、12月14日（土）
令和2年2月19日（水）
いずれも午前10時30分から12時まで
- 会場：県立中央図書館 子ども図書研究室
※開催約1か月前から、HPに案内を出し、受付をします。当日のご参加も可能です。
- 申込：来館、電話、FAXまたはEメールにて
- 問合せ：県立中央図書館
(静岡市駿河区谷田53-1)
電話：054-262-1246 FAX：054-264-4268
webmaster@tosyokan.pref.shizuoka.jp

- ◇子ども図書研究室のテーマ展示（現在）◇
- ◆知識の絵本 ◆講演会関連資料展示
- ◆エリック・カールさん90歳

◆「子ども図書研究室」をご利用ください

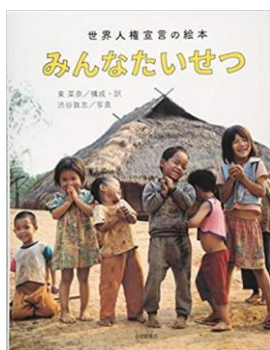
「子ども図書研究室」では、児童書、絵本及び子どもの読書に関する参考図書を置いています。児童書・絵本の選択や内容、幼児期における本の与え方の研究などにご利用いただけます。

また、各地域で子どもの読書活動を推進している公立図書館、学校図書館、地域の大人の皆さんの情報交換、交流の場としてもご利用いただけます。

- 場所：県立中央図書館1階
- 利用対象：15歳以上の大人（中学生を除く）
- 利用時間：午前9時～午後5時（火～金の午後2時～5時は職員が在室。その他、2階総合案内カウンターへの申込みで開室いたします（要利用者カード）
- 団体利用：選書会等の会場としてご利用いただけます。時間は火～金の午前9時～午後5時まで（休日および休館日を除く）ですが、それ以外でも相談に応じます。
- 資料紹介：平成15年度以降に発行された児童書（コミック、参考書などは除く）を網羅的に収集しています。
- 研究書・雑誌：子どもの本や子どもの読書に関する大人向けの図書や雑誌を収集しています。



新着資料から



絵本

『みんなたいせつ
世界人権宣言の絵本』
東 菜奈／構成・訳
渋谷 敦志／写真 岩崎書店
2018年11月

こどもが理解できるようにやさしい言葉に意識した世界人権宣言の写真絵本。各ページにはこどもの写真が多用され、人権が守られることが身近なこととして感じられる。ただし、写真は紛争地域や難民キャンプで暮らすこどもたちが多く取り上げられ、条文と写真の結びつきは深い。宣言とりまとめの中心人物や日本や世界の現状が紹介されているページもある。巻末には外務省の仮訳文あり。大人の助けがあれば中学年からでも十分理解できる。【小学校高学年から】（青山）



文学

『その魔球に、まだ名はない』
エレン・クレイジス／著
橋本 恵／訳
あすなろ書房
2018年11月

10歳の天才ピッチャー、ケイティはリトルリーグにスカウトされトライアウトに合格するが、女であることを理由に合格を取り下げられてしまう。女子だって野球はできるのに納得できない！

抗議をするため図書館で調査し、かつての女子選手にインタビューをする中で、忘れられ無視されてきた女子野球の歴史が明かされる。舞台は1957年。公民権運動や米ソ宇宙開発競争を背景に、自分の力で突き進む主人公の姿は力強い。常に味方で善き助言者でもある母親も魅力的。【小学校高学年から】（眞子）